

第 1 1 回補助金検討委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成 17 年 2 月 10 日（木） 午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分
- 2 開催場所 浦安市役所第 3 庁舎第 2 会議室
- 3 出席者
（委員）
小 泉 允 囿 委員長、川 口 明 浩 副委員長
渡 邊 襄 一 委員、野 崎 実 委員、藤 岡 順 次 委員
館 里 枝 委員、仲 澤 泰 委員
（事務局）
新 宅 秀 樹 財政課長、及 川 力 主 査
渡 辺 豊 副主査、文 違 一 博 副主査、玉 野 広 宗 主任主事
- 4 欠席者
大 川 三 敏 委員
- 5 議 題
（1） 補助金検討委員会報告書の骨子案について
（2） その他
- 6 議事の概要
（1） 補助金検討委員会報告書の骨子案について
補助金検討委員会報告書の骨子案をもとに、議論が行われた。
次回では文書化していきたく、提案、ご意見等あれば今月中までに提出いただくこととなった。

（2） その他
次回会議の開催は、3 月 2 2 日（火）。
- 7 会議経過
補助金検討委員会報告書の骨子案についての議論が行なわれた。
委 員：約 1 年間検討委員会が開催されてきたが、平成 1 7 年度予算中、各課の補助金額に変化があったのか。
事務局：各課が作成したチェックシートを基に、各補助金に対する委員会としての意見感想をいただいが、予算要求時期との関係から、実際に数値としての反映は難しかった。
しかしながら、委員会としての意見感想については、各担当課長に直接報告をしたので、担当の意識の部分では変化が出てきていると考える。
即数値ということは難しいかとは思いますが、統一した報告書などにより平成 1 8 年度以降には反映していきたい。
委 員：意識付けができたかとは思いますが、今後の執行段階で何らかの変化なり、市のほうで考えていることはあるのか。

事務局：前回の会議の中でも意見が出されたが、資料不足と統一した書類などではなかったことで評価がしにくいといった点も含め、8月ぐらいまでの中で、統一した書類の作成、各課への指導などを考えていきたい。

今回の補助金検討委員会の報告書では、これまでいただいたきびしい意見や補助金の目的などについて提言をいただきたいと思う。

委員：骨子案であるように、大きく8の流れでの作成に対しては、問題ないと思う。

現状の課題では、今までの検討の中で出されていた補助金対象経費の不明確、市職員・団体の意識、決算等書式の不統一、繰越金の精査、交付団体の事務局を市が担っていること、補助金交付要綱等についてをまとめていき、現行補助金の評価として廃止が望ましい補助金、変更が望ましい補助金、統廃合すべき補助金、公募型補助金変更すべき補助金、存続の適当な補助金、拡充すべき補助金等に区分し、列記していければと考える。

その上で、市への提言を作成していければ検討委員会での意見がより良くまとめられるのではないかと考える。

委員：交付基準の策定はどのようにするか。また、報告書での位置付けはどのように考えるか。

委員：交付基準をしっかりとしたものにしても、運用が悪ければ変化が見られないで終わってしまう。今回の補助金検討委員会での提言書では、運用部分を強くしていくべきではないかと考える。

現在の補助金の中では10年以上にわたり支出している補助金は多く、自動的に見直しを図らなくてはならないようにしていくようなシステムが必要だと考える。

委員：現状の課題にあげられている項目に対し、団体数なりをしっかりと出していくべきではないかと考える。補助金交付の現状や現行補助金の評価にある項目で示すのではなく、現状の課題で取り上げることが意味のあることと思う。

委員：課題を出すからには、補助金交付の現状をしっかりと分析しなければならないのでは。

次回会議では、文書化できるものにしていきたい。

本日検討していただいたことを基に、報告書の素案なりを事務局に提出していただきたい。次回の検討委員会の結果によるが、委員の皆様の任期は本年3月までになっているが、延長をしていただくことになる。